

7

山形市 ウォーキングマップ

●距離:S 3,460m / L 4,620m ●時間:S 52分 / L 69分 ●カロリー:S 160kcal / L 210kcal ●歩数:S 4,940歩 / L 6,600歩

街なかウォーキングコース 【 ショートコース(S)・ロングコース(L) 】



② 歌懸稻荷神社

歌を詠まなければ渡ることが許されない橋があり、お参りの際に歌を奉納する習慣があったことが「歌懸」の由来といわれています。また、境内の北西には、市内最大の三ノ丸跡もみられます。



③ 山形まるごと館紅の蔵

紅花商人であった長谷川家の旧家、蔵敷を活用し「山形の歴史、文化を活かした新たな魅力とにぎわいの創造」をコンセプトに、山形の魅力ある食の提供、地域特産品の販売、伝統野菜をはじめとする安心・安全・新鮮な農産物の直売、各種イベントの開催、観光情報の提供などを行っています。



④ ほっとなる広場

ちょっと休憩しましょう。

⑤ 水の町屋七日町御殿堰

山形市は、蔵王山系より流れる豊富な水によってできた扇状地。「奥羽の驍将（ぎょうしょう）」と呼ばれた最上義光の城下町です。その城下町の中心、七日町にあるのが「水の町屋七日町御殿堰」。老舗とモダンが混在し、山形の歴史と伝統、そして山形発の最先端の情報が凝縮した癒しの空間です。市民の憩いの場として親しまれています。



SUKE SK

霞城公園 ゴール



⑦ 山形県郷土館「文翔館」

「文翔館」(山形県旧県庁舎及び県会議事堂)は、大正5年に建てられた英國近世復興様式のレンガ造りの建物です。昭和59年に国の重要文化財に指定されました。様々な文化活動の場として広く一般に開放され、親しまれています。



⑥ gura (グラ)

四季と生産者を「つなぐレストラン」、山形の素材と技術を「活かすクラフトストア」、文化とコミュニティを「愉しむラウンジホール」、みんなとゆったり「集える広場」で構成されています。山形の「食」「デザイン」「人」が集まる「まちなかの居場所」。3つの蔵と開放的な広場があり、新しいヒト、モノ、コトに出会える空間です。



山形城史跡を巡る



① 山形城北門

② みつばち公園 山形城三ノ丸堀

山形城の三ノ丸堀の跡に造られた公園。公園内には堀の名残の段差が見られます。



③ 歴史の道

山形城三ノ丸外堀沿いの古道です。



④ 財部稻荷大明神

山形城郭外十一口の三ノ丸の要地小田口土堤の内側西方に鎮座していた社です。火の神を祀り、聖火の下、食住の平安を守護する靈験顯著な社です。



⑤ 山形城三ノ丸墨壕跡 (稻荷口付近)

昭和48年までは水を湛えた壕が残っていました。この由緒ある旧跡を遺すため、その形状を生かした公園として整備したものです。



⑦ 旧町名標示柱 (旧香澄町字六十里越)

山形城三ノ丸内南方で、出羽三山の参詣者などが通る六十里越街道の起点となつたところです。



⑥ 壽稻荷神社

最上義光公時代に城外の稻荷塚にあったが、城主鳥居忠政公が山形城の鎮護の神として城内稻荷口の現在の地に移したものです。



⑧ 靈石よなき石(碑)

この地に言い伝えられていた石塔を「靈石よなき石」として祀っています。



⑨ 城南橋公園

高架下に、健康器具が2種類あります。



⑩ 旧町名標示柱 (旧香澄町字南追手前)

旧香澄町字南追手前は、山形城三ノ丸南追手門(のちに南大手といわれた)の前に当たっていたところです。



山形城北門 ゴール